

## 「お金の教育」始めてみませんか

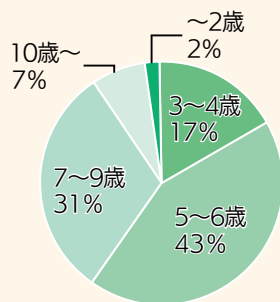
近年、学校で金融教育が取り入れられるようになるなど、子どものうちからお金の勉強を始め、お金の問題に対して適切な判断をする力を身に付けていく重要性が増しています。令和4(2022)年4月1日に成年年齢が18歳に引き下げられ、法定代理人(親など)の同意がなくても携帯電話やクレジットカード、ローンなどお金に関する契約行為が可能に。消費者トラブルを避け、また万が一巻き込まれてしまっても正しく対応できるよう子どもにお金の知識を身に付けさせたいと考える保護者は多いのではないのでしょうか。



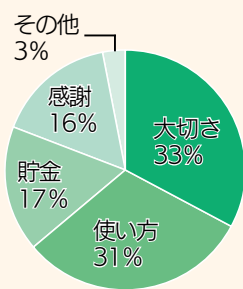
### お金の教育、いつ始めましたか

保護者に聞きました

Q お金について子どもに教えたのは何歳の時でしたか



Q お金について子どもにどんなことを教えましたか



子どもが10歳になる頃までにお金の大切さや使い方についての話をしている家庭が多いことが分かります。日々の生活の中でお金に関する学びのきっかけはたくさんあります。普段の買い物、家計を支える仕事、お小遣いの使い方など、子どもが興味を持ったタイミングで話をしてみてもいいのではないでしょうか。

### 子どもたちのお金事情

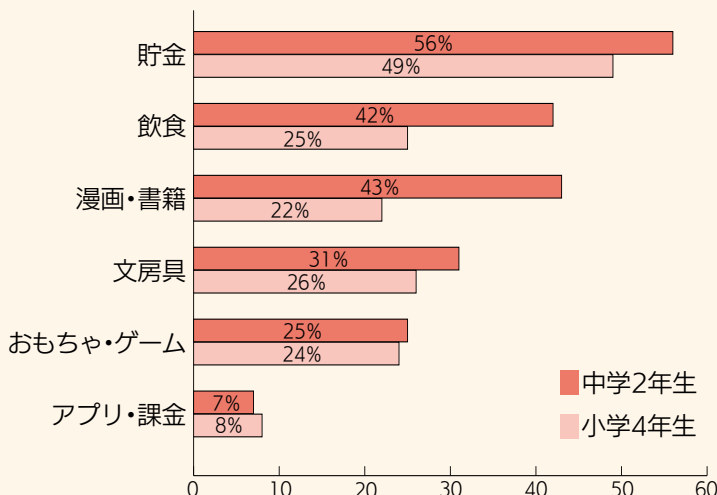
小学4年生と中学2年生に聞きました

Q お小遣いをもらっていますか

はい 77%      いいえ 23%

およそ8割の子どもたちがお小遣いをもらっていることが分かります。もらったお小遣いは貯金すると答えた子どもが小・中学生ともに多くいました。お金を計画的に使いたいという意識が子どもたちの中にあることが読み取れます。中学生では「飲食」や「漫画・書籍」との回答も多くなっています。趣味や友達との付き合いにお金を使う場面が増えてきているようです。

Q お小遣いは何に使いますか(複数回答)



子どもは成長するにつれ、お金を使う場面が増えてきます。またさまざまなキャッシュレス決済の普及により、子どもたちを取り巻く「お金」のあり方は日々多様化しています。年末年始は人と集まる機会も多くお小遣いをもらう子どもたちもいるかもしれません。お金のことを学ぶ絶好の機会です。親子でお金の使い方について、一度話をしてみませんか。

(参考: (公財)愛知県教育振興会 子とともに ゆう&ゆう2021年1月号)